

事業所名

大分こども発達支援センターやすらぎ 児童発達支援

支援プログラム

作成日

令和 7年 2月 17日

法人（事業所）理念		一人ひとりの子どもが生き生きと心豊かに生活し、持っている力を十分伸ばして、将来に向かって羽ばたいていくこと		
支援方針		児童の意思および人格を尊重して、常に児童の立場に立った児童発達支援の提供を確保することを目的とする。児童が日常生活における基本的動作および知識技能を習得し、集団生活に適應することができるよう適切かつ効果的な指導及び訓練並びに治療を行うものとする。		
営業時間		8：30 ～ 17：30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用を開始する時には、連絡帳や保護者に心身の状態及び健康状態（食事、排泄、睡眠、服薬）を確認する。 ・対象児の表情や全身状態（目視やバイタルチェック）の観察をする。 ・給食時の摂取量や排泄状態、お昼寝の時間など生活のリズムが安定するよう努める。 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自力歩行や歩行器など日常生活に必要な移動能力が向上するよう、室内外の散歩や移動する活動を取り入れる。 ・バギーや補助用具を使用し、活動時や給食時に姿勢が保持できるよう支援する。 ・視覚、聴覚、触覚等の感覚を使った遊びやおあつまり活動（季節の制作、季節の歌等）など感覚を感じられるよう支援する。 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・天気や時間、スケジュールなど環境から情報を得て、認知機能が向上するよう支援する。 ・遊びや活動の中で数や大小、色の違いや重さなど視覚や聴覚、触覚などの感覚を十分使えるよう支援者がサポートする。 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・利用する時には「おはよう」と声をかけ、表情や仕草などを含め、コミュニケーション基礎的能力の向上を促せるよう支援する。 ・おあつまりなどの活動機会を使い、個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力向上に向けた支援を行う。 ・絵本や玩具を使い、具体的な事物と言葉を結びつけることで体系的な言語の習得や自発的な発声を促せるよう支援する。 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との関係を意識しながら、先生やお友だちなど身近な人との関係を構築し、身近な人と安定した関係を形成できるよう支援する。 ・遊びの中で先生を模倣することで社会性や対人関係の芽生えを支援する、又、一人遊びが並行遊びになるよう先生が介入し、遊びの中でルールや役割を守って協同遊びができるよう支援する。 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の活用 ・園便りによる通信 ・個別の療育相談や保護者面接 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校との連絡調整会議 ・地域移行に伴う他事業所との連携 ・ADLの確立とIADLへの取組
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・専門家チームによる巡回相談会の開催 ・大分県発達障がい者支援専門員養成研修視察施設 ・大分県保育コーディネーター養成研修視察施設 ・未来はばたきネット研修会事務局 ・大分県発達障がい研究会理事 ・大分県発達障がい者支援センター連絡協議会委員 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県発達障がい者支援専門員養成研修 ・大分県保育コーディネーター養成研修 ・法人内接遇・マナー研修 ・社会福祉施設等経営支援セミナー ・医療的ケア児地域支援研修会 ・大分市社会福祉協議会施設部会研修会
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・七夕会（7月） ・プール活動（7～8月） ・夏まつり（8月） ・演奏会（9月） ・消防車見学（10月） ・運動会（11月） ・クリスマス会（12月） ・太鼓演奏会（1月） ・お楽しみ会（6月2月） 		